



- ①障害を含む様々な多様性をもつ子どもが、自分も周り(他の子どもや教員たち)もストレスが極力少ない状態で共に学校生活を送るための支援策の開発・提案
- ②多様性の理解と受容を促す教育等の在り方の開発・提案

B28

「多様性の理解と受容を促す教育」とは教育現場(小学校etc)で行われる教育を指すのでしょうか？
現在企業における多様性の理解促進に興味があるため、ぜひ手法や特徴を見たいです。

B41

これからとりわけ必要になってくる分野だと思います。「～支援策」とは具体的にどのようなもののでしょうか？興味深いです。

B43

教育は小中高大で行われるけど、社会人になっても、親になっても学べなかったことを、自由に学べる場所があれば、いいと思う。特に親になって、初めて子育てする時、親としての学びが地域の場所であればと思ったことがある。



施設がバリアフリーでないために希望した学校に行けないケースが多く、エレベーターがない建物でも車椅子等が上階に出入りできるように移動を支援する機器が欲しいです。学校現場等が大規模な工事を必要とせず簡単に設置できる機器であればなおいいです。

B53

バリアフリー⇒ユニバーサルデザインが今風ですね。

B63

最近興味をもっています。学校や通学路などの具体的な改良、改善策のあり方について知りたいです。

B66

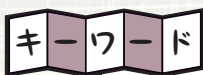
行政の予算的制約は厳しいですね…



- ①障害等の多様性をもつ子ども・成人の当事者のニーズ調査、インタビュー調査等の実施およびコーディネート
- ②学校教育現場での各種調査、実践等の実施およびコーディネート
- ③教育相談(教員、保護者、子ども本人)

A37

福山市の鞆の浦のさくらホームという施設が、介護、発達障害の方々が生き生きと暮らせる街づくりをしており、応援しています。



多様性、インクルーシブな社会、バリアフリー、学校教育、障害理解・受容